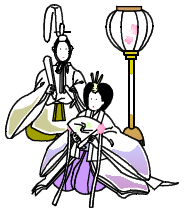
めだか通信210号

桐生市教育支援センター「あぷろーち」

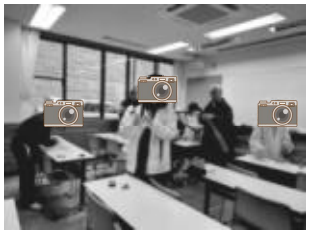


２月は寒暖の差もあり、なかなか春を感じることができない日々が続いていたように思います。

２月下旬には「お別れ会」があり、子どもたちは卒業、進学、進級に向かってそれぞれの歩みを始めました。４月からの新たなスタートに不安や心配をもっている人もいると思いますが、職員一同最後まで子どもたちに寄り添いながら支援をしていきたいと思います。各家庭や学校関係の皆様からもぜひお声がけをよろしくお願いいたします。

【 運 動 日 】

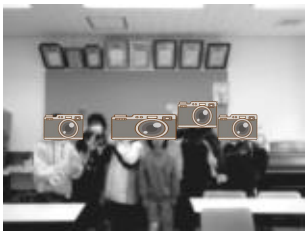
今年度最後の運動日がありました。今回は、一年間お世話になった野外活動センターでボランティア活動を行いました。とても気温が低く寒い一日でした。午前中は、傘を入れる袋を使ったロケット作りをお手伝いしました。小学生の体験用のもので、実際に飛ばす体験もさせていただきました。午後は、紙すきの材料になる「こうぞ」の繊維をハンマーでたたいて伸ばすという作業を行いました。冷たい風が吹く屋外での地道な作業ではありましたが、子どもたちは一生懸命にやってくれました。また、紙すきの時に使う飾りを切り抜く作業もしました。寒かったけど楽しくボランティア活動ができ、充実した一日になりました。



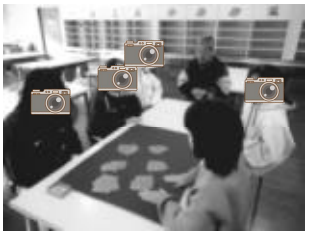
【傘袋のロケット作り】

【飛行実験もしました】

【目標の５０個完成！】



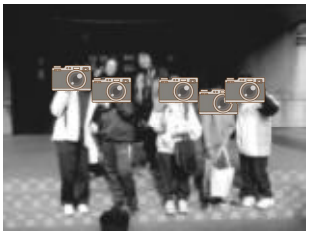
【頑張りました～！】



【昼休みはトランプ大会】

【こうぞたたきの様子】

【紙すきの飾りを準備】



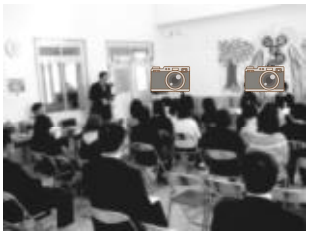
【充実した一日でした】

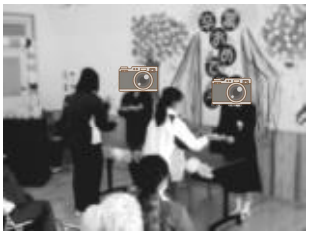
【 お別れ会 】

卒業生２名、在校生８名が出席して「お別れ会」が行われました。当日は「あぷろーち」の報告会もあり、終了後保護者や学校関係者の皆様にもお別れ会に参加をしていただき、とても温かな雰囲気の中で行うことができました。お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございました。在校生による司会・進行、プレゼント贈呈など、それぞれに大切な役割があり、緊張している生徒もいましたが、子どもたちが立派に責任を果たしてくれました。会場の準備やプレゼントの作成など、全員の協力があって素晴らしい会になりました。卒業生、在校生ともに、４月から始まる新たなステージで、それぞれが目標をもち、自分なりのペースでいいので、一歩を踏み出せることを期待しています。

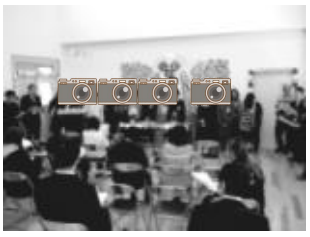
【卒業生が堂々と入場】

【凛々しく見えます】

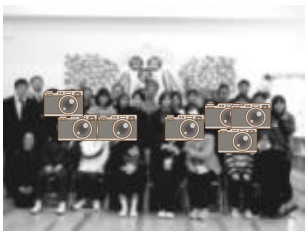

【副所長からお祝いの言葉】

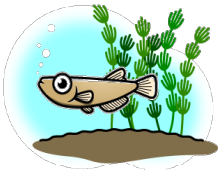

【在校生から記念品】

【職員から記念品】


【合唱「旅立ちの日に」】

【アーチでお見送り】


【いい笑顔で記念撮影】



【めだかのつぶやき】

不登校児童生徒が全国で初めて３０万人を超えたいう報道がありました。子どもたちをめぐる教育環境は年々変化し、教育内容も学ぶ場も多様になってきました。「教育支援センター」は不登校児童生徒の学びや社会的自立を支える公的な場としての役割を担っています。さらに都道府県によっては、不登校の生徒に特化した中学校も設置されているそうです。登校時刻も服装なども自由で、学習内容も自分のペースで一人一人に合わせた学習計画を担当教員と相談しながら決めていくというものです。担当教員も生徒自身が指名できる学校もあるということです。そうした背景には「人との関わり」を大切なテーマにしている指導者側の狙いもあるのだと思います。不登校児童生徒の中には人間関係作りが苦手な生徒が多いというのは「あぷろーち」でも感じます。さまざまな活動や体験を通し、人との関わり方を学び、中学校卒業後もこうしたスキルを生かして生活を送れるように支援をしていくということです。スポーツを通しての人間関係作りも重要で、全国の学校支援センターの多くがスポーツを通した人間関係作りを取り入れているそうです。協働性や協調性を育て、人間関係作りにも有効であると考えられています。中でも人気なのが「卓球」と「バドミントン」で、全国の約８割の教育支援センターで実施しているという調査結果があります。共通していることはネットを挟んでの競技なので相手との接触が少ない、気軽に楽しめる、ルールが簡単などがあげられます。「あぷろーち」でも「卓球」「バドミントン」は人気の競技です。基本は「楽しく身体を動かす」ことです。「学習」はもちろん大切ですが、活動や体験、スポーツを通した「人との関わり」も大切にしながら「あぷろーち」の活動を続けていければと考えています。

＜3月･4月の主な予定＞

2月下旬～3月中旬　中3チャレンジ期間　　※３/１３（木）中学校・義務教育学校卒業式

3月中旬～下旬　小6チャレンジ期間　　※３/２４（月）小学校卒業式

3月中旬～下旬　在校生チャレンジ期間

3月下旬　終わりの会　11:30

※３/２６（水）小・中・義務教育学校修了式

4月上旬　始めの会　10:00

桐生市教育支援センター
２０２５年３月１日　発行
TEL　４６－６３１４